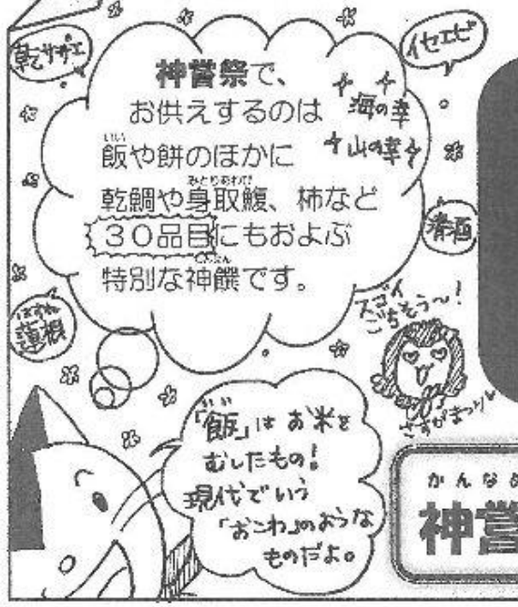
「神嘗祭」は神宮で1番重要なおまつり

稲作が始まった弥生時代以来、米が豊作であることが、人と社会にとって豊かさを実感する最も重要なことがらでした。



初穂曳

「陸曳」10月15日(月)
・奉曳車に初穂をのせ市内を練り歩いて**外宮**へ奉納。

「川曳」10月16日(火)
・奉曳車に初穂をのせ五十鈴川をさかのぼり**内宮**へ奉納。

神嘗祭

外宮15日～ 内宮16日～
その年の新穀をお供えして神様に感謝するおまつり。

「嘗」とは秋まつりの意味だそうです！

✿いせまめ✿ プレゼントクイズ！

Q、外宮まがたま池のほとりにある選宮の資料館の名前は？（ひらがな4文字どうぞ）

住所・氏名・電話番号・クイズの答えを書いて、ハガキ・Faxなどでご応募ください
正解者の中から抽選でプレゼント！

しめきり 10月2日です

- ちびまる子ちゃんフェイスタオル……3名様
- 栗之助クリアファイル……2名様

クイズの答：○○○○館
住所
名前　電話

現在は、このクイズの応募はしめきらせていただいてます。

まっちゃんのまめまめ知識 「御裳濯川」って？

五十鈴川のことです。倭姫命が御裳(着物)のすそを五十鈴川で洗ったという伝説からそう呼ばれています。宇治橋の欄干のギボシにもその名が入っています。チェックしてみて!!

✿こんにちは 高須新聞店です

いつもご愛読ありがとうございます

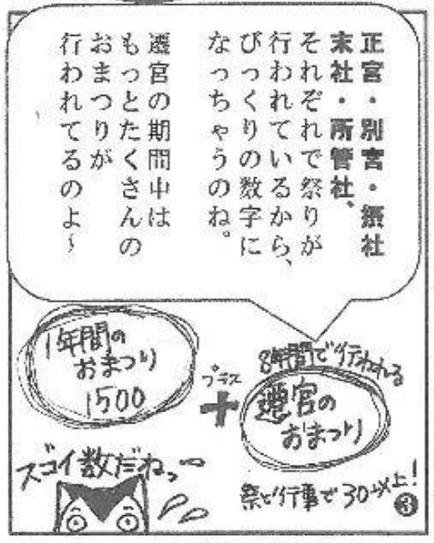
古来、稲が実るためには、人の力だけでなく名も数も知れぬ神々の手助けがあると誰もが信じてきました。

世界でも収穫を祝うお祭りは数多くあり、カボチャの提燈や仮装グッズで有名なハロウィンも元は「収穫祭」だとか。

今年は「伊勢まつり」(10月6・7日)と「初穂曳」(10月15・16日)の日が違いますが、どちらも「伊勢の秋のまつり」(*^_^*)　皆さんも豊作に感謝しながら、参加してみてはいかがでしょうか。

☞次号は10月28日(日)発行予定。おたのしみに

たーくんの「いせ豆知識」 第3話 神宮の重要なおまつり



～高須新聞店通信　お伊勢さんを知ろう企画～ ✿いせまめ通信✿

発行：中日新聞
伊勢市南部店
高須新聞店①
伊勢市楠部町乙422-1
☎ 0596-24-1720
fax0596-24-1728
毎月25日頃発行
第3号
平成24年9月23日